

欧州統一特許裁判所制度

－運用開始後の制度利用状況ほか－

2023年9月

弁理士法人 志賀国際特許事務所

弁理士 清水雄一郎

1 はじめに

- 長年に亘って導入の検討が進められてきた欧州統一特許裁判所制度は2023年6月1日についてその運用が開始され、それから3箇月が経過いたしました。
- 運用開始に向けてオプトアウトなどへの対応に追われたことと存じますが、実際に運用が始まってみて、本制度がどのように利用されてきているのかが少しずつ見えるようになってきております。
- 以下に制度の利用状況に関するいくつかの情報、アップデート情報などをご提供いたします。ご参考になれば幸いです。

免責事項：本資料は細心の注意の下で作成したのですが、その内容を保証するものでなく、法的アドバイスを提供するものでもございません。弊所は、本資料記載の内容実施によって何らかの損害が生じた場合にも、一切の責任を負うものではありません。

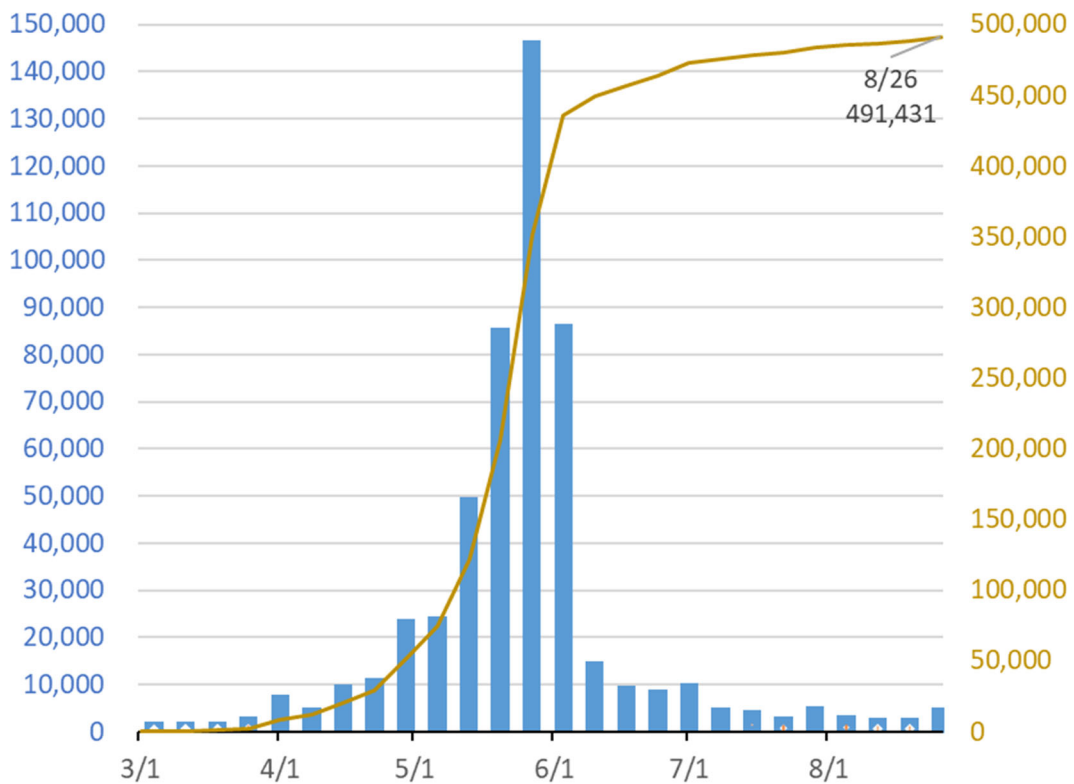
2 制度の利用状況

[制度概要](#) ←

01 | オプトアウト申請

- UPC ウェブサイトより取得したデータを使って、2023年3月1日から5月31日までのサンライズ期間、及び、6月1日運用開始後のオプトアウト申請件数の推移を示すグラフを作成しました。サンライズ期間は、オプトアウトの事前申請を受け付ける期間です。
- 申請件数は、運用開始を約1箇月後に控えた4月末頃から急増し始め、運用開始直前にピークを迎えました。その後も一定のボリュームが認められますが、7月第2週あたりから平均約2,500件/週に落ち着いているように見えます。
- 8/26時点での申請総件数は約49万件です。EPOにおける年間出願件数が約20万件（2022年）、出願最終処分までの期間が約2年（2021年）、年間許可件数が約8万件（2022年）であることを考えましても、感覚的ですがかなり多くの件数であるといえそうです。

オプトアウト申請件数/週の推移2023年



- なお、UPC には一定の権限を有する者によるアクセスが可能であり、より詳細なデータを取得できるデータベースがありますが、相談した現地代理人によれば、取得されるデータの詳細な内訳が必ずしも明確でなく正確な数値を得ることが難しい状況のようです。UPC からの公式な統計情報提供が待たれるところです。

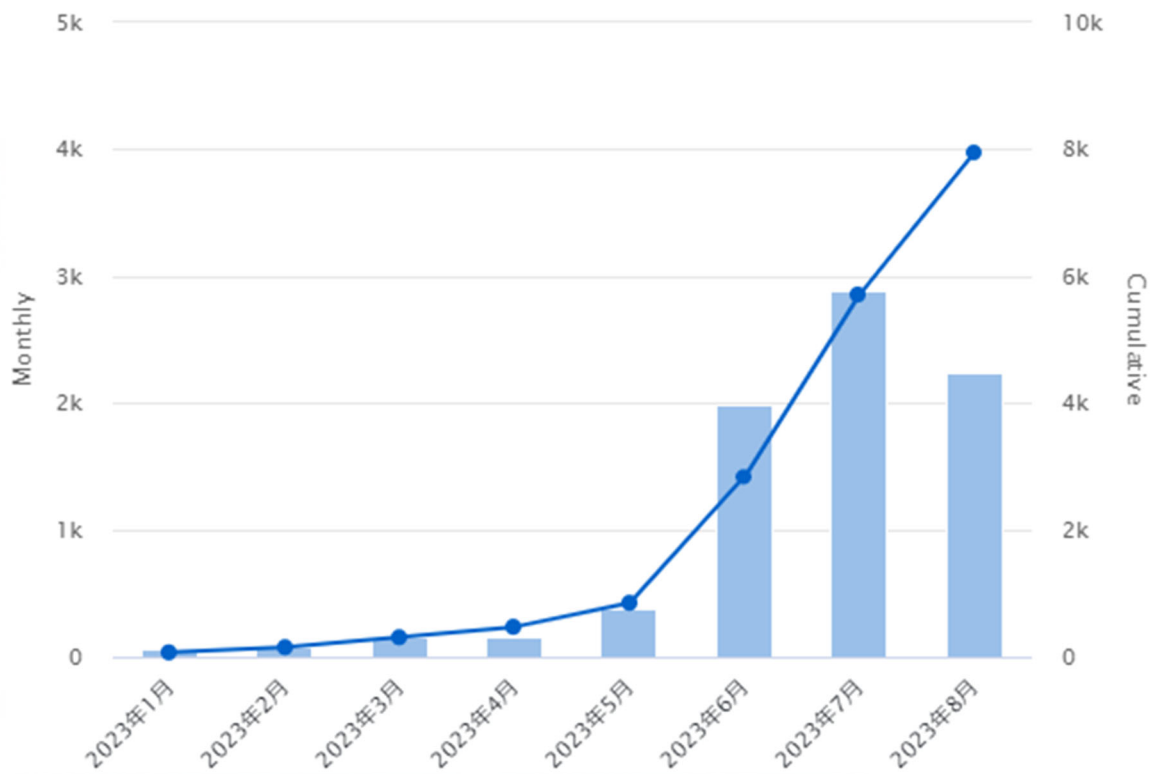
02 | 訴訟提起

- UPC ウェブサイトによれば、これまでに侵害訴訟 35 件、取消訴訟 6 件、その他訴訟 4 件の提起が認められます (8/30 時点)
- 訴訟地としてミュンヘン、マンハイム、デュッセルドルフなどドイツが多いようです。
- 日本人を原告とする侵害訴訟が 12 件、日本人を被告とする取消訴訟が 2 件あることが認められます。
- 技術分野として、伺い知れる限りでは、通信、ヘルスケア、ライフサイエンス、バイオといったところが多く含まれているようです。

03 | 単一効欧州特許申請

- [EPO ウェブサイト](#)にて統計情報が提供されております。
- 申請の受付は、制度運用開始前の1月から先行して始まっており、現在までに約8,000件申請され、うち約7,500件が登録されております（8/30時点、以下同じ）。

Evolution of requests received



出展：EPO ウェブサイト

- 技術分野別では、インフラ機械、材料製造、健康、電子物理、デジタルといったところが多いようです。
- 権利者国別ではドイツ、米国が多く、日本から250件申請されております。
- 日本からの申請件数は全体の約3%にあたります。EPOへの出願件数に占める日本からの出願件数の割合が約11%（2022年）であることを考えますと、日本人による利用は少ないといえそうです。

3 制度アップデート

- Brexit に伴いロンドンに代わる UPC 中央支部の設置場所が長らく検討されてきました。この度、イタリアのミラノに設置されることになりました↩。
- これに伴い、UPC 協定の改正がなされ、支部による技術分野の担当割当表も変更されます。もともとロンドンが担当する予定であった、化学・冶金分野の担当がミュンヘンに移されるようです。
- 改正前後の支部による技術分野の割当は以下の通りです。

<改正前>

DISTRIBUTION OF CASES WITHIN THE CENTRAL DIVISION (1)

LONDON Section	PARIS Seat	MUNICH Section
(A) Human necessities	President's Office (B) Performing operations, transporting	(F) Mechanical engineering, lighting, heating, weapons, blasting
(C) Chemistry, metallurgy	(D) Textiles, paper (E) Fixed constructions (G) Physics (H) Electricity	

<改正後>

London Milan Section	Paris Seat	Munich Section
	President's Office	
(A) Human necessities, without Supplementary protection certificates	(B) Performing operations, transporting	(C) Chemistry, metallurgy, without Supplementary protection certificates
	(D) Textiles, paper	(F) Mechanical engineering, lighting, heating, weapons, blasting
	(E) Fixed constructions	
	(G) Physics	
	(H) Electricity	
	Supplementary protection certificates	

謝辞

前掲の UPC 統計データの取り扱い及び確認においてドイツ Hoffmann-Eitle 事務所にご相談にのっていただきました。ここに感謝の意を表します。

以上